

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			* 十分なスペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			* 児童指導員の配置基準に沿ってシフトを組んでいる。送迎時も2人ずつ乗車している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			* 玄関の手すり及び手洗い場の手すりは現在は必要ない為外しているが、必要時には設置できる。
	4	それぞれのスペースにおいて、コロナ感染対策は充分に行われているか	8			* アクリル板の設置・定期的な消毒、換気など意識的に心掛けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			* 目標設定時などに、広く職員の意見を聞いて行っている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			* 今年度も保護者向けアンケートを実施したが、その中で頂いた意見を基に改善につなげたい。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			* 飛騨市社協ホームページや広報誌「福祉ひだ」に掲載している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			* 各機関が開催している各種研修などに参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			* アセスメントを丁寧に行い、保護者や子どものニーズを反映して個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			* 「福祉協会ASP」のソフトにあるツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか(目標)	8			* 複数の職員で話し合いながら立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			* 目標の達成状況を確認しながら立案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			* 休日や長期休暇にしかできない支援があるので、平日とは変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			* 一人ひとりの様子・状態に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			* 営業日は毎日している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			* 日誌の記入時に、職員間で振り返りながら共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			* その日に目標に対しての活動記録を記入するよう心掛けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			* 行っている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	8			* 行っている。
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が 参画しているか	8			* 児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子 どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、 トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		* 神小には、週ごとに送迎表を渡している。それ 以外の学校とは、年間行事予定を頂いたり、トラブ ル発生時に連絡をとったりしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2			* 現在、医療的ケア必要児は在席してしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか	8			* ことばの教室(児童発達支援事業所)があり、密 に情報共有している。保育園とも情報交換するよう 努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支 援内容等の情報を提供する等しているか	8			* ピース(障害福祉サービス事業所)、吉城福祉会 (相談支援事業所)などと情報共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて いるか	6	2		* 飛騨市地域生活安心支援センター「ふらっと」と 連携している。研修の情報もいただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会があるか	2		6	* 今年度もコロナ禍であり困難だった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加してい るか	8			* 「子ども部会」の部会長を務めており、毎回参加 している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持って いるか	8			* 子どもの帰宅時やアセスメントをとる時などに、 話し合っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対しての支援を行っているか	8			* 「いきぬきカフェ」の中で冊子を渡し、子育ての参 考にもらった。
保護者へ の説明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	8			* 契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			* 随時行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援してい るか	6	2		* 「いきぬきカフェ」の中で保護者どうし交流してい ただいた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整 備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があ った場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			* 玄関外にご意見箱を設置している。 * 苦情受付窓口も周知している。
	34	施設内での活動概要や行事予定、連絡体制等の 情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			* 毎月の利用申込書を渡すときに、伝えている。 * 季節の行事を実施したときにはお便りを出してい る。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			* 個人情報保護規定を制定し、遵守している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	8			* 視覚支援など心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っているか			6	* 地域交流は行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			* コロナウイルス陽性判明時、暴風警報発令に伴う休校時などの対応マニュアルを保護者に渡している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			* 定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			* 毎月チェックしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			* やむを得ない場合については、保護者と十分に話し合い、個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			* おやつ提供時に個別に対応している。(現在2名該当)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			* している。